

まちづくり懇話会で寄せられた意見（要約）

長峰地区

	意見など	回答
1	<p>長峰では五十石川が2つに分かれています。そこに泥がたくさん溜まっています。県がすることだと思いますが、なるべく早く泥を寄せてもらえるよう市の方からも強くお願いしてもらえないでしょうか。</p>	<p>天津地区でも五十石川、三反田川、石井川を浚渫してもらいたいという意見がありました。天津地区では県に浚渫に対する要望書を出していただけたという事でしたので、市だけではなく地元の声も一緒に届けたいと思います。県の予算を確保してもらうため、地域のみなさんと一緒になって私たちも要望していきたいと思います。</p>
2	<p>長峰地区には赤尾の方に大きな池とすぐそこに古池という大きな池があります。ほかにも宇佐市の中で1番か2番かというくらい池がとても多くあります。このすばらしい生態系を活用したまちづくりを行う必要があるのではないかと考えています。</p>	<p>ため池の生態系を活用したまちづくりは大切な取り組みの一つだと思います。市でも環境保護の啓発を行うため、自然と親しむ会のみなさんに世界農業遺産関係の補助金を利用してもらい古池周辺の生態系について立派な活動報告書を作っていただきました。</p> <p>地域の資源を活かして何か取り組みを検討されているのであれば、それが合致するかどうかは中身を聞いてみなければ分かりませんが、活用できるかもしれない補助金もあります。ご相談いただければ最大限ご協力できることはやっていきたいと思っています。</p>
3	<p>宇佐市の小学生・中学生の学力は県下でも非常に高いと思っています。ところが、高校生になるとレベルが非常に低くなります。理由を考えると、優秀な生徒は市外の高校に通っているのだと思います。昔のように、宇佐なら宇佐、中津なら中津の子どもはそこにしか行けないというように「小学区制」に戻すべきだと思います。</p>	<p>市教育委員会の管轄は小・中学校までですので、高校の校区については直接判断することはできません。しかし、市教育委員会では、地域の子どもたちは地域で育てることを基本的な考え方としています。極端に言えば、宇佐の中学生は宇佐の高校に行ってもらおうという考え方を基本に、子どもたちの生きる力を育む教育環境の整備に取り組んでいるところです。進路の決定にあたっては、通学の利便性や学習内容、資格の取得、職業・進学実績、部活動などが基本的な要素になっていると思っています。そのため、各高等学校では生徒や保護者を対象に説明会を開催するほか、体験入学日を設定して学習内容や進学状況などの情報を提供しているところです。それによってどういう高校か理解でき、行きたいと思う生徒も増えるのではないかと考えています。そのほか、高等学校長と7つの中学校長で構成する宇佐地区中高合同連絡会も年3回開催して、校長間の細かな情報交換ができるよう取り組んでいます。</p> <p>また、中学生にとって市内の高校がどうすれば魅力的に映るのか、まずできることは何かということについて、私立を含めた4校の高校の校長先生方と検討しました。その結果、市内の高校生を対象に海外へ留学できる制度を設けようということで、9月の議会で議決をいただいて取り組みを始めています。</p>

4	<p>長峰は宇佐高校からだとも市内で一番へんぴな所にあります。高校は7時45分までに席に着いておくように指導されているみたいなので、自転車で通うと6時30分には家を出なければなりません。現状では、勉強のことだけではなく通学の面も考えると、中津に出る人が多くなっているのではないかと思います。</p>	<p>高校に通う子どもさん方が通学するための環境が非常に厳しいという意見をいただきました。特に中津に近い四日市方面では、宇佐高校と四日市高校が統合した時にそういう取り組みが若干なされていたとは聞いていますが、利用の実態も踏まえてそれが長続きしていなかったと聞いています。色々な話し合いの中でも、そういう問題が出ていると聞きます。実際お孫さんや子供さんを心配しているという声に対応するため、市としましても今一度、高校と協議をしながら出来ることを探っていきたいと思います。</p>
5	<p>清水地区には防災無線がひとつありましたが、10号線の方と山手の清水寺がある方では全然聞こえませんでした。そのため、2年前から観光まちづくり課などの協力を得て、独自の無線の設置が完了しました。設備を有効に活用するため、市で放送した内容をメモなどで連絡していただければ、私達の方でその通りに放送したいと考えています。情報を間違いなく放送したいと思いますので、放送内容の提供について検討していただきたいと思います。</p>	<p>地域で設置した独自の放送設備と市が防災などの色々なお知らせに使う防災行政無線との連結は出来ないかという事ですが、技術的に難しい面があると思います。業者と出来るものかどうか検討は行いたいと思います。また、何らかの形で区長さんに防災無線で放送した内容を同時に伝えれば、その内容を地域のみなさんにお知らせしていただけるのであれば、ぜひその方向も含めて検討のうえ回答したいと思います。</p> <p>【回答】 清水自治区で独自に整備された放送設備を活用していただくため、防災行政無線で放送する内容については区長にFAXでお知らせします。</p>
6	<p>コミュニティバスが週2回運行していますが、長峰の中を回って、到着するのが小野病院の前なので、コミュニティバスはお年寄りを病院に運ぶだけのバスなのかと言われています。幹線道路の中を通すと既存の路線バスとの競合など色々問題があるとは思いますが、もともとある裏道などを通れば四日市まで行けます。</p> <p>コミュニティバスを病院だけではなく買</p>	<p>コミュニティバスの路線につきましては、運行経路を見直し今年の夏に小野病院までの乗り入れが可能になりました。そこからはどうしても路線バスとの競合という問題があります。しかし、先程お話があったようなご意見も多々聞きますので、大交北部バスと協議を行っています。どういった方法が一番可能なのか検討して、出来る限り運行範囲を延ばせるよう取り組んでいきたいと考えています。</p>

	い物にも行けるように路線の変更を検討してもらえないでしょうか。	
7	住みたい田舎ランキングというものがありますが、これで本当に良いのかと思います。「田舎の1位」ではなくて、「住みたい環境の総合1位」という目標を持ってまちづくり・田舎づくりに取り組む必要があるのではないかと思います。	<p>今回お配りした資料のそれぞれのページの上の方に書いてありますように、「『定住満足度日本一』『交流満足度日本一』のまちづくり」これが市政方針として様々な取り組みを行っています。</p> <p>「田舎暮らしの本」という雑誌が、都会の人に人気があって読まれています。その2014年版で1位に選ばれたということ、先程の説明の中でPRさせていただきました。今年は12位だったのでまた来年頑張りたいと思っています。住みたい田舎ランキングは、あくまでいろんな指標がある中のひとつとして1位も取ったことを紹介させていただきました。</p>
8	地域づくり・まちづくりは、高齢者への対策よりも、若者が宇佐市で働く場所の確保に一番力を入れていただきたいと思います。若者が働く場所があれば、市全体が潤うのではないかと思います。いろいろ問題はたくさんあると思いますが、働く場所を拵えていただければ自然と解決していくのではないのでしょうか。色々な所に働きかけて、会社をよんでもらって、都会へ行った若者が地元に残るようにしていただければ、経済面でも潤ういろいろな面で力を出してもらえないかと思います。ぜひ市長さんに頑張ってもらい、働く場所を拵えていただきたい。	<p>若者の働く場所づくりのため、企業誘致については市としましても一生懸命取り組んでいるところです。市長就任以来、新規で10社、増設が11社あり、それなりに成果は上がっていると思いますが、現在ではダイハツのように1,000人雇うというような大きな企業が立地する状況にありません。</p> <p>企業が他の市をいくつか回った時に、本当に宇佐市に決めていただくため、最後の決め手というものが重要です。優遇措置が良いか、土地が安いのか、労働力があるか、自治体の受け入れ体制がきちんとしているかという部分が大きな要素となります。現在、色々な奨励金制度を充実させながら周辺の市に負けないような環境づくりに努めています。</p> <p>また、地元の就職説明会も1回目を今年は高田市と同じ日に行い、高田と宇佐どちらの説明会にも参加できるように、連携を図っています。外に出ている方にも参加していただけるように、開催方法を工夫しながら実施しているところです。</p>
9	小学校の通学路の道路整備を長峰地区の区長さんが全員で申し込んでも、整備の順番がすぐにはまわってきません。私も子どもと一緒に学校に行きますが、危険な場所が多く道路の状態が良くありません。以前、市長さんにこの玄関道路だけは、とお願いした時に	<p>長峰小学校の前から国道10号までの工事は、今年度完了しました。通学路の整備は最優先だと私たちも考えています。そのため、毎年小学校と警察と一緒に通学路点検などを行っています。その際でも結構ですので、この箇所改修を行ってほしいなど区長さんを通じて市の方に要望をいただきたいと思います。担当課で現況を確認して、通学路が危ないのであれば改修を行っていますのでご理解ください。</p> <p>生活道路の整備については市長が就任以来旗頭にあげて取り組んでいますので、予算的には</p>

	<p>広くなりました。西から東まで主な道路だけでも舗装を綺麗にさせていただければと思います。</p>	<p>以前に比べ倍以上ついています。数でいえば、年間に100箇所くらいは実施しています。自治区は今346ありますので、自治区単位でみると3年に1回くらい整備が行えるという状況です。小学校区単位ですと3～4箇所は実施できていると思います。ようやく1箇所整備したら次はこことここ、という状況ですので、従来からの要望箇所を消してもまだ大量に要望箇所が残っているというのが現状です。少しお待たせすることがあるかも知れませんが着実に実施していきますので、ご理解をお願いします。</p>
10	<p>4号ポイントの歩道部分の雑草をもう少し整備などできないでしょうか。年に何回くらい業者が来て草刈をしているのか分かりませんが、せめて30～40センチになったら刈ることが必要だと思います。今はもう1mくらい伸びています。それが両サイドにあつて、そこを自転車が通ります。市はどんな除草対策をしているのでしょうか。</p>	<p>歩道などの草刈は、大きな幹線道路だけは市が予算を確保して年に1回行っています。市内にはかなりの路線がありますので、雑草が30cm以上伸びたら切るとは、予算的にも非常に難しいと考えています。歩道の横に植樹帯などもあり、どこの地区に行っても道路の草刈が一番大変で、地域のみなさんにも大変苦勞をおかけして協力していただいているところです。</p> <p>通行の支障になるような支障木については、今年は9月補正で予算を組んで維持管理を行うことにしています。各地域からは側溝の清掃や草刈など道路の維持に伴う色々なご意見をいただいています。すべてについてすぐに対応することはできませんが、地域の人が少なくなっている状況がどの地域でもあります。今後、市の土木課で検討していきたいと思っています。</p>
11	<p>私たちが子供の頃は失業対策事業で道路1キロを個人で管理していました。そういう計画はないのでしょうか。</p>	<p>現在そういう計画は考えていませんが、道路の管理についていずれにしても何らかの対策が必要であるとの認識は持っています。今後、他市の状況も見ながら検討を行っていききたいと思います。</p>
12	<p>植樹帯など後の管理が大変なものは造らないようにしていかないとこれから先道路の維持管理はどんどん難しくなるのではないのでしょうか。</p>	<p>道路を計画する際の参考にさせていただきます。</p>
13	<p>人口の2分の1は女性です。女性の感性を利用すれば素晴らしいまちづくりができるのではないかといつも思っています。今日は部長さんが7人みえていますが、女性は1人もいません。女性が何人かいれば、素晴らしい意見が出ると思います。</p>	<p>女性の登用については、非常に重要なテーマだと考えています。ただ一気に飛び越えて女性が部長級になるということはなかなか難しい部分があり、かえって優秀な人材を潰すことになりかねません。今、若い係長には女性がかかなり増えていますし、課長にも女性が2人います。色々な企画や意思形成など、今まで男性がやっていた分野を女性がかかなり占めるようになっていきます。また、議会でも議員からの質問にしっかり答えています。近い将来にはもっと女性課長の数が増え、そして部長も誕生することになると思っています。</p>

14	<p>部長さん方が時間の半分も使って説明するのではなく、地域に根ざして地元からの意見を聞き取るのに費やす時間をもっと増やしていただけないでしょうか。</p>	<p>まちづくり懇話会の時間配分につきましては、市の総合計画の進捗状況を市民のみなさんに知っていただくため資料を作成し説明する時間をいただいています。資料の説明時間などにつきましては、今後検討させていただきたいと思います。</p>
----	--	---